

「多極ネットワーク型まちづくり」による 将来都市構造図（案）

人口減少と高齢化が進む中で、生活に関わる社会基盤をいかに、「暮らしの質の向上となるまちづくり」につなげられるか。

【総合計画】

1 暮らしと防災

- 移住者やUターン者、学生にとって住みたい町としての魅力向上

3 学びと交流

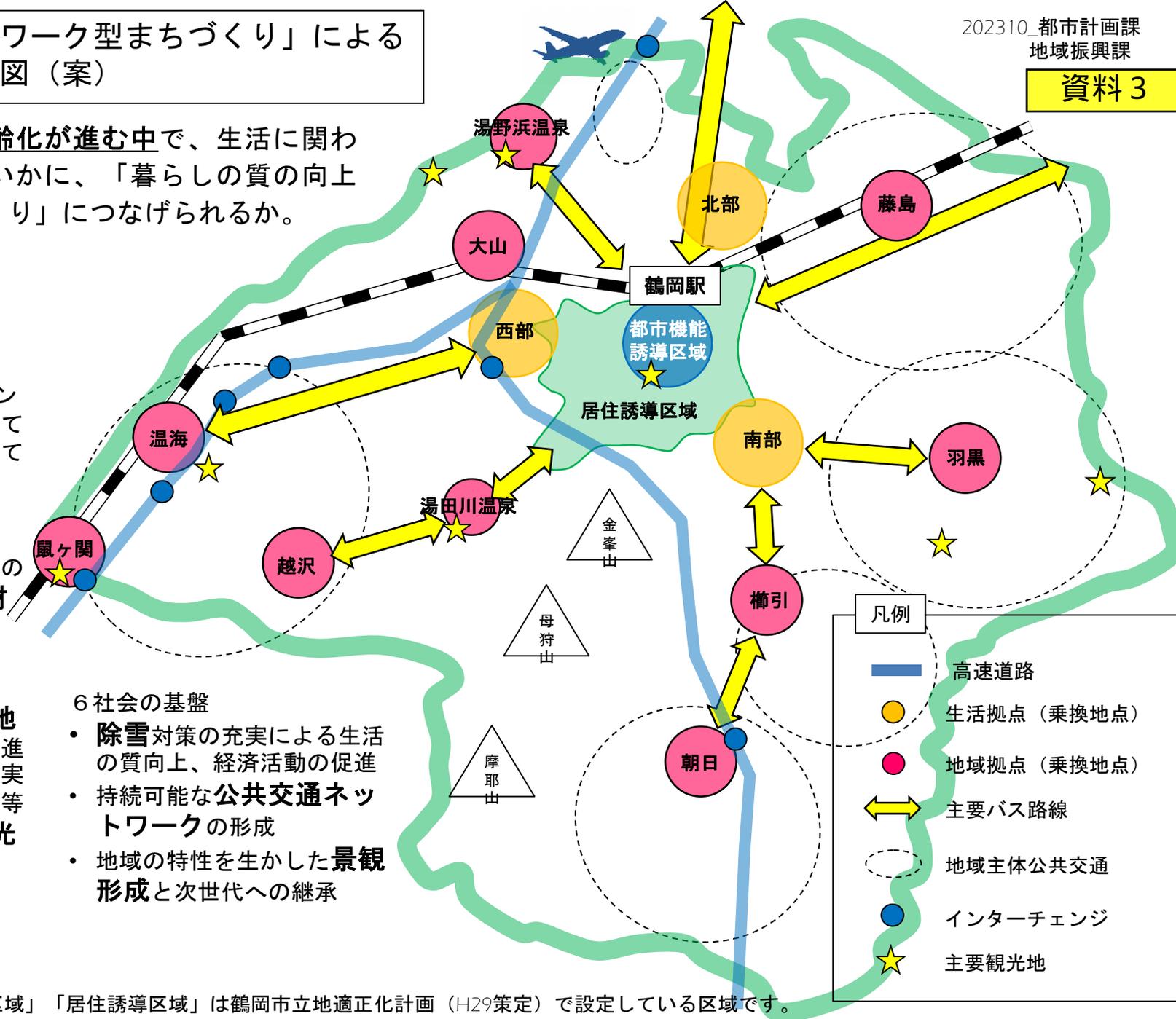
- 高等教育機関との連携による人材育成

5 商工と観光

- 企業の新規立地や設備投資の促進、創業環境の充実
- バス運行の充実等による市内観光の周遊促進

6 社会の基盤

- 除雪対策の充実による生活の質向上、経済活動の促進
- 持続可能な公共交通ネットワークの形成
- 地域の特性を生かした景観形成と次世代への継承



凡例	
	高速道路
	生活拠点（乗換地点）
	地域拠点（乗換地点）
	主要バス路線
	地域主体公共交通
	インターチェンジ
	主要観光地

※「都市機能誘導区域」「居住誘導区域」は鶴岡市立地適正化計画（H29策定）で設定している区域です。